

商業簿記

【第23回】

テーマ18 本支店会計②

テーマ19 合併と事業譲渡

(2) 1つの会社としての財務諸表を作成する

1. 帳簿上の合算手続き（社内）

前回の内容はここです。

2. 精算表上の合算手続き（外部）

P275

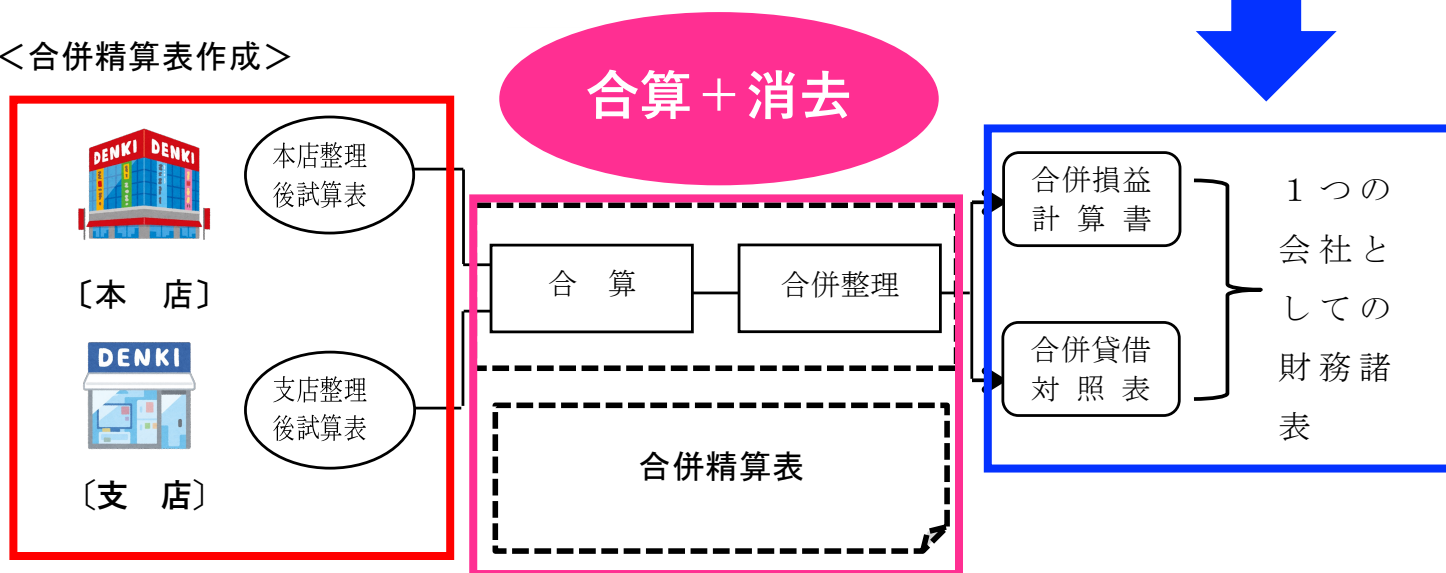
本店と支店は1つの会社



2. 精算表上の合算手続きの流れ（P275）

< 合併精算表作成 >

決算
整理後



(2) 1つの会社としての財務諸表を作成する

今回はここを確認します！

1. 帳簿上の合算手続き（社内）

P269

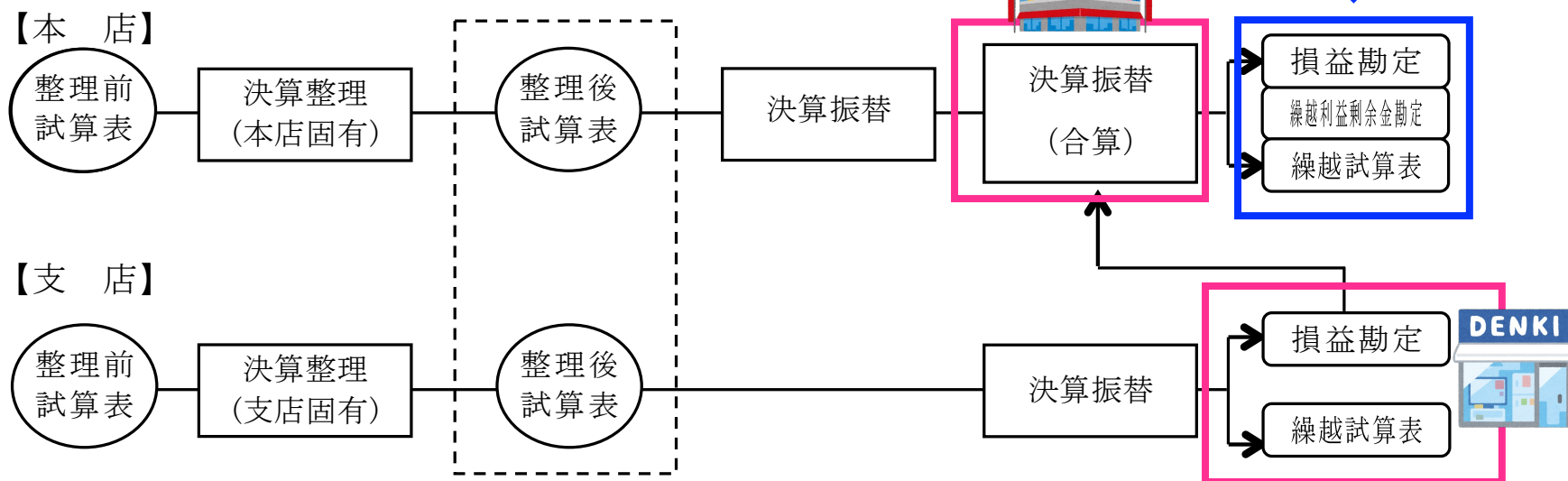
2. 精算表上の合算手続き（外部）

P275

本店と支店は1つの会社



1. 帳簿上の合算手続きの流れ



1.帳簿上の合算手続きをやってみよう



支店独立
会計制度



前T/B

前T/B

仕訳帳に
仕訳を記入

本店の決算整理仕訳

支店の決算整理仕訳

1. 帳簿上の合算手続きをやってみよう



後T/B

1つの会社としての利益を計算する必要がある



後T/B

本店の決算振替仕訳

支店の決算振替仕訳

総勘定元帳

損 益

費用 × ×

収益 × ×

利益 × ×

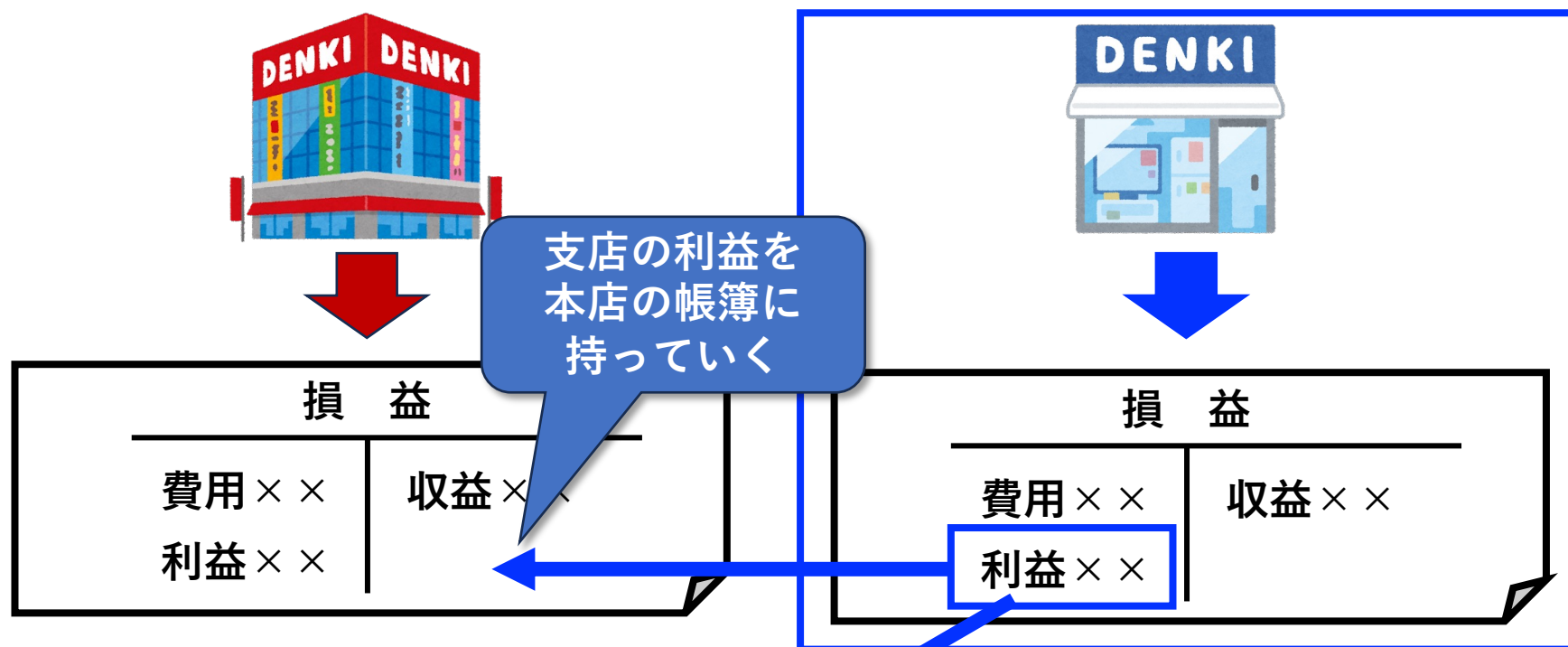
損 益

費用 × ×

収益 × ×

利益 × ×

1. 帳簿上の合算手続きをやってみよう



(2) 決算振替（支店純損益の算定+支店純損益の振替）

決算振替により、支店の損益勘定で算定された当期純損益は、本店の損益勘定へ振り替える。さらに、本店勘定へ振り替える。

(借)	損	益	× × ×	(貸)	本	店	× × ×
-----	---	---	-------	-----	---	---	-------

会計帳簿上は、本店と支店は独立しているため、支店の損益勘定から本店の損益勘定へ当期純利益を振り替える際、相手勘定として照合勘定を用いる点に注意してほしい。



支店側の振替仕訳



(借)	損	益	×××	(貸)	本	店	×××
-----	---	---	-----	-----	---	---	-----



本 店				損 益			
：	：	：	：	仕 入	××	売 上	××
売 掛 金	××	現 金	××	営 業 費	××	：	：
：	：	：	：	：	：		
		損 益	××	本 店	××		
			××		××		
××		××		××		××	

1. 帳簿上の合算手続きをやってみよう



損 益

費用 × ×

収益 × ×

利益 × ×

損 益

費用 × ×

収益 × ×

利益 × ×

相手勘定は
「照合勘定」

本店の側で支店の利益
を受け取る仕訳

②支店純

訳について

本店では、支店の決算処理を受けて、支店の純損益を本店の損益勘定に受入れる。

(借) 支

店 × × ×

(貸) 損

益 × × ×

支店の場合同様、会計帳簿上は、本店と支店は独立しているため、支店の損益勘定から本店の損益勘定へ当期純利益を振り替えられる場合、本店の側でも相手勘定として照合勘定を用いる点に注意してほしい。



本店側の振替仕訳

支店から受け取った利益



(借) 支 店 ×××

(貸) 損 益 ×××



本店の損益勘定で支店の分を合算する

		損	益		
仕	入	×××	売	上	×××
:	:	:	:	:	:
本	店	純	利	益	×××
		×××			
繰越利益剰余金		×××	本店の利益		
(合併純利益)			×××		
		×××	本店純利益		
			×××		
			支店 (又は支店損益)		
			×××		
		×××	×××		

1つの
会社とし
ての利益

(1) 本店と支店のそれぞれ「決算振替仕訳」をする (P273設例18-3)



決算整理後残高試算表 (記入済み)

× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	180,000	買掛金	176,000
売掛金	128,000	貸倒引当金	6,400
繰越商品	90,000	資本金	200,000
支店	116,000	繰越利益剰余金	64,000
仕入	490,000	売上	720,000
営業費	160,000		
貸倒引当金入 繰	2,400		
	1,166,400		1,166,400



決算整理後残高試算表 (記入済み)

× 年 3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金預金	38,000	買掛金	35,500
売掛金	90,000	貸倒引当金	4,500
繰越商品	66,000	本店	116,000
仕入	519,000	売上	660,000
営業費	100,000		
貸倒引当金入 繰	3,000		
	816,000		816,000



	本店の仕訳		支店の仕訳	
	借方	貸方	借方	貸方
(1)収益の振替				
(2)費用の振替				

参考＜勘定科目の移動のことを「振替え」という＞

仕 入（費用）	
後T/B490,000	

営業費（費用）	
後T/B160,000	

貸倒引当金繰入（費用）	
後T/B2,400	

売 上（収益）	
	後T/B720,000

損 益（P/L）	



(2) 支店の純損益を本店に振替える仕訳をする。

<本店側>



損 益

仕 入	売 上
営 業 費	支 店
貸倒引当金 繰 入	
繰越利益剰 余 金	

<支店側>



損 益

仕 入	売 上
営 業 費	
貸倒引当金 繰 入	
本 店	

	本店の仕訳		支店の仕訳	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方
支店純損益の 振替仕訳				

※上記の仕訳で「照合勘定」の残高はそれぞれどうなるか？

支 店



後T/B 116,000

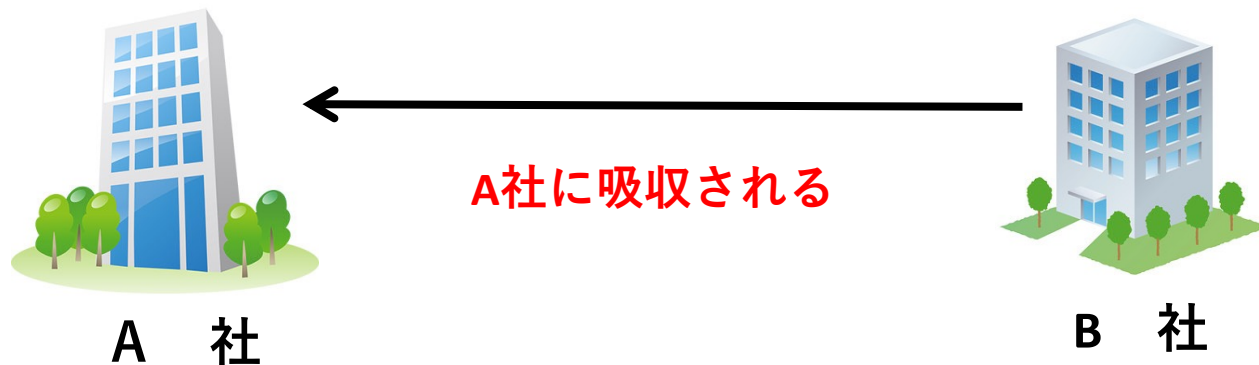
本 店



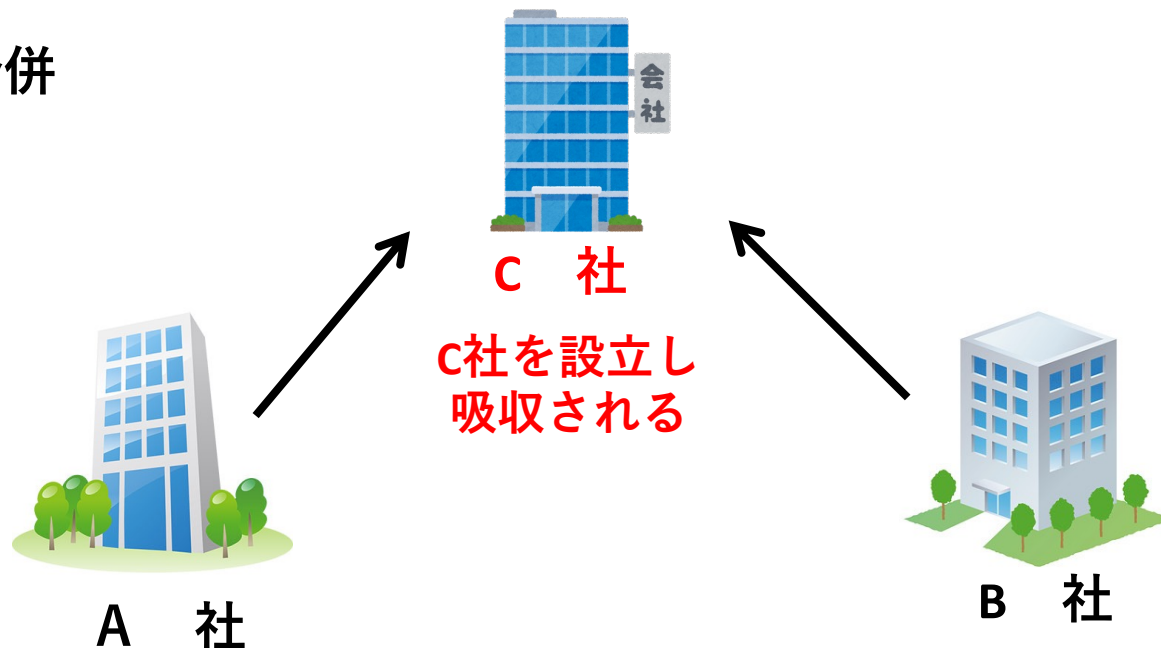
後T/B 116,000

テーマ19：合併と事業譲渡 1. 合併とは (P280)

(1) 吸収合併

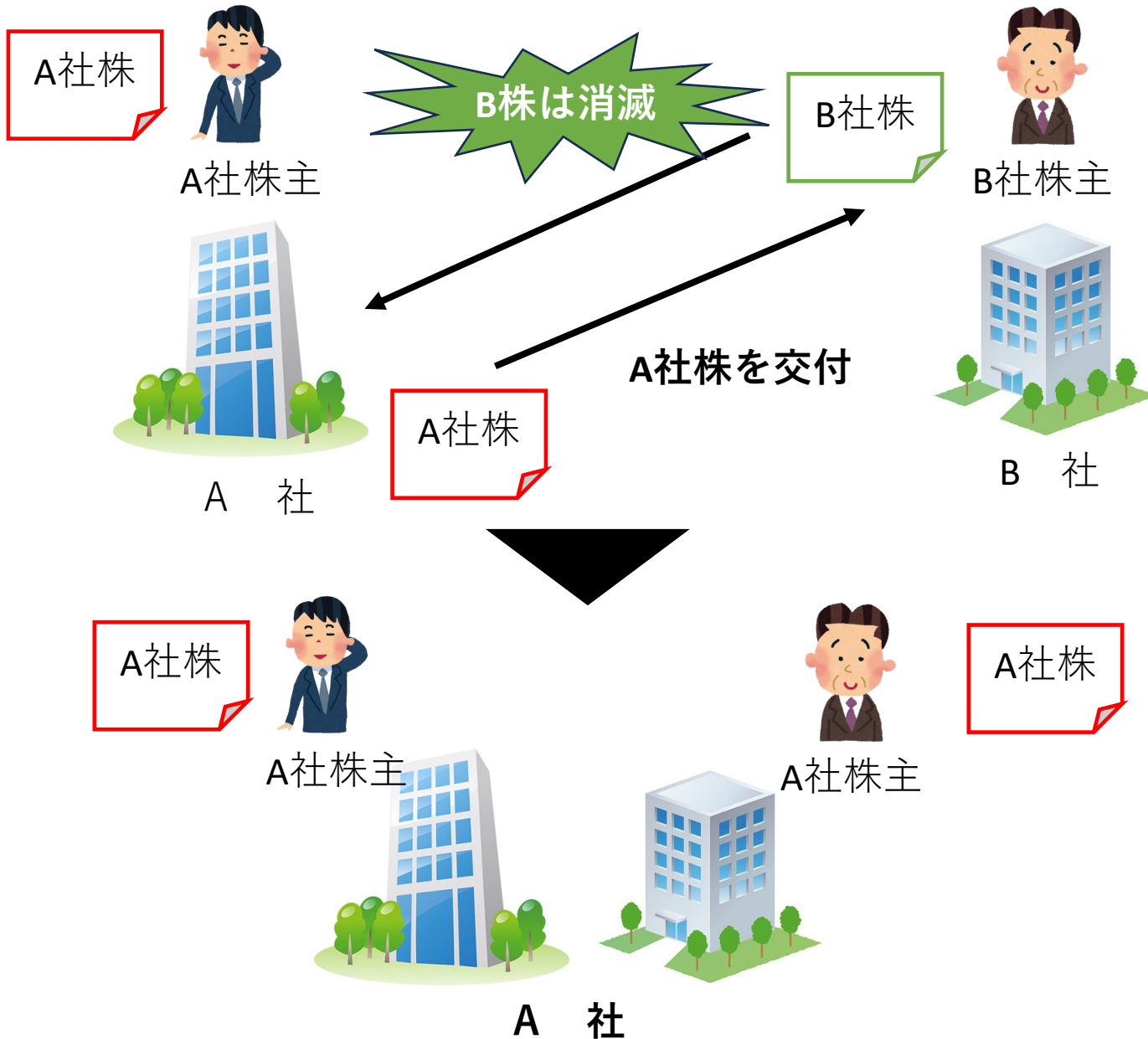


(2) 新設合併

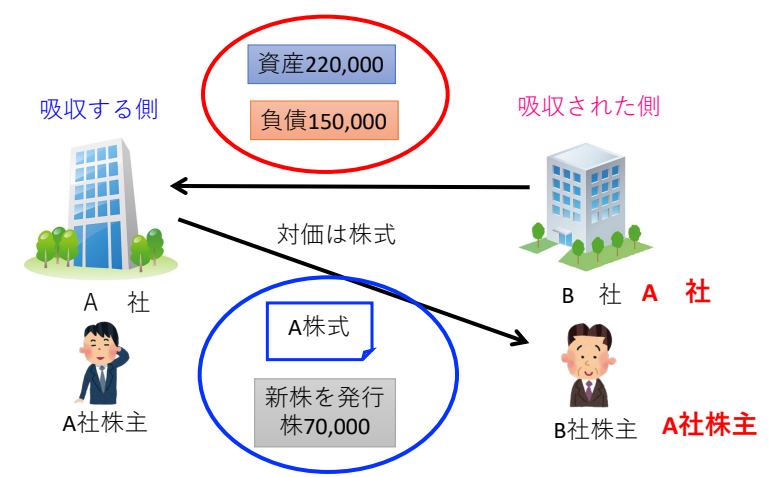


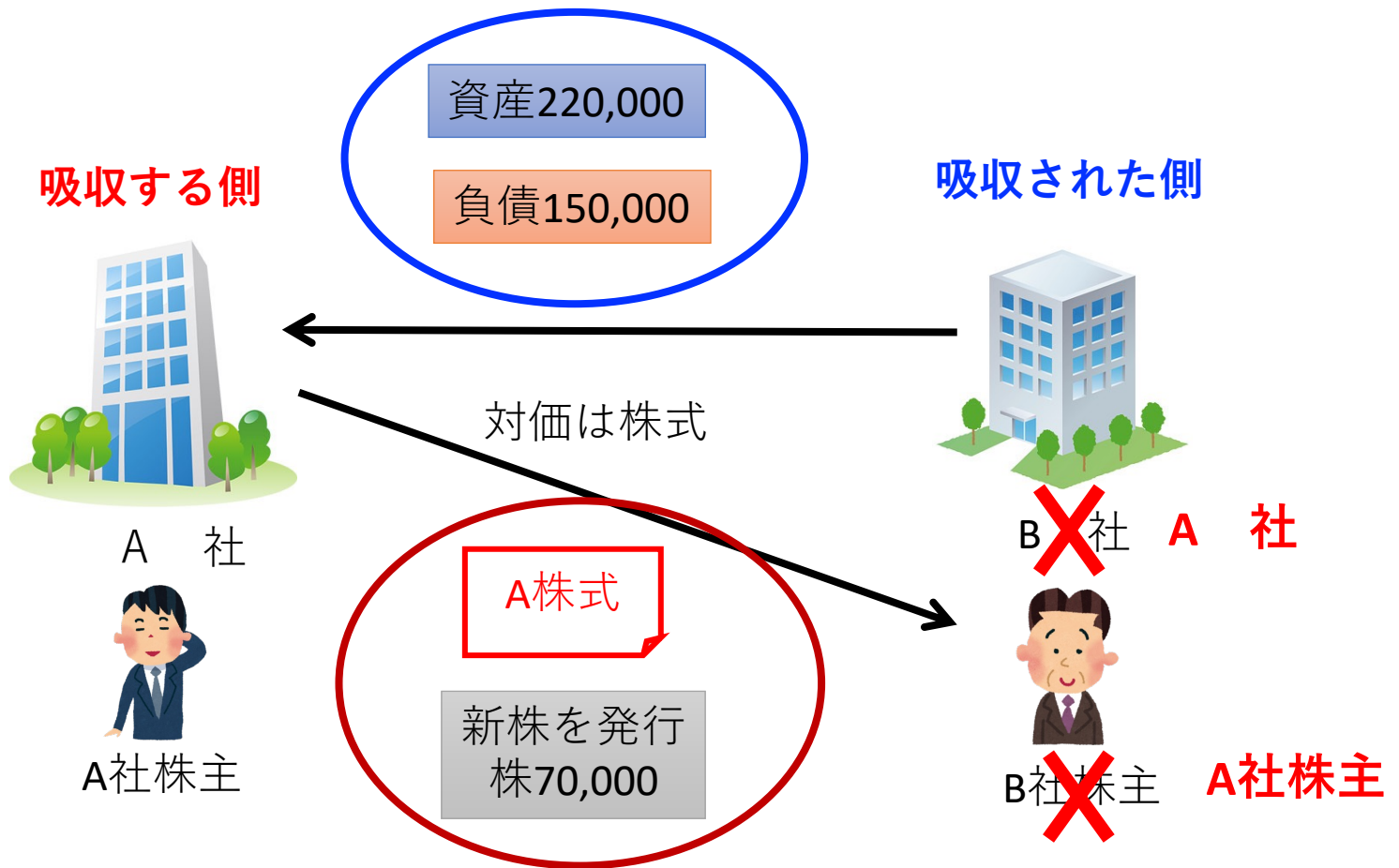
2. (1) 吸収合併について (P281)

B社を買収するときの
対価を「株式」とする場合



(2) 吸収合併したときの仕訳を考えてみよう「その1」(P281・282)

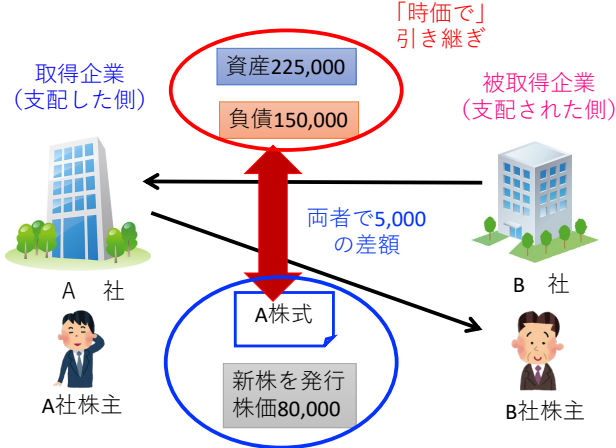
論 点 1	吸収合併の基本的処理 (P 282)	
仕訳例の金額 (仕訳例01)	① A社は、B社を吸収合併した。対価はA社の株式であり、B社の株主に対してA社株70,000円を交付した。 ② 吸収合併により、A社はB社の資産と負債を引き継ぐ。 B社の資産（現金とか土地とか諸々）は220,000円、負債は150,000円であった。 	
吸収合併したときのA社の仕訳 (P 282)	借方	貸方

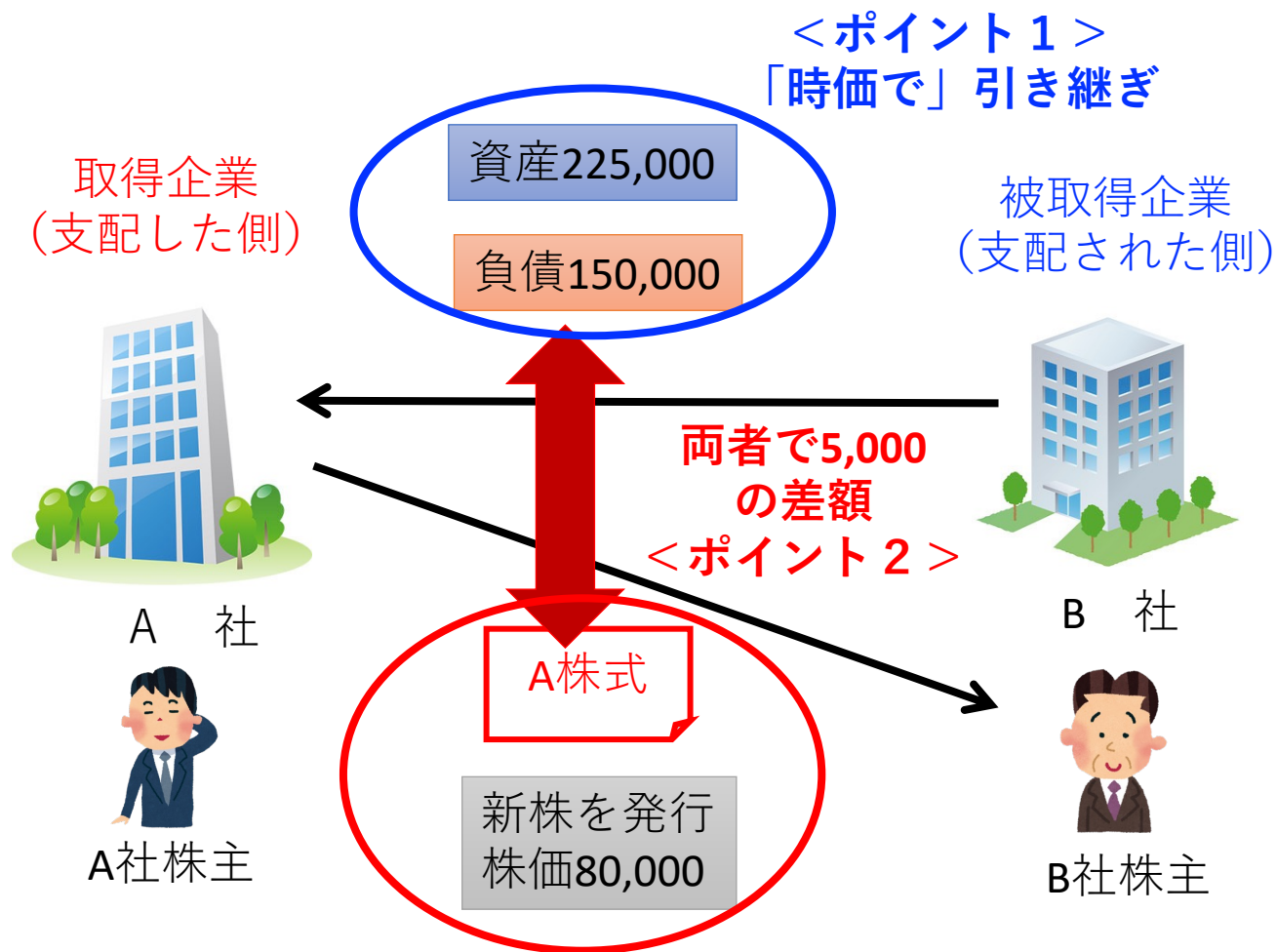


【ポイント 1】
吸収合併により、A社はB社の資産と負債を引き継ぐ

【ポイント 2】
吸収合併対価は「お金」じゃなくて、「株式」である。

(3) 吸収合併したときの仕訳を考えてみよう「その2」(P282)

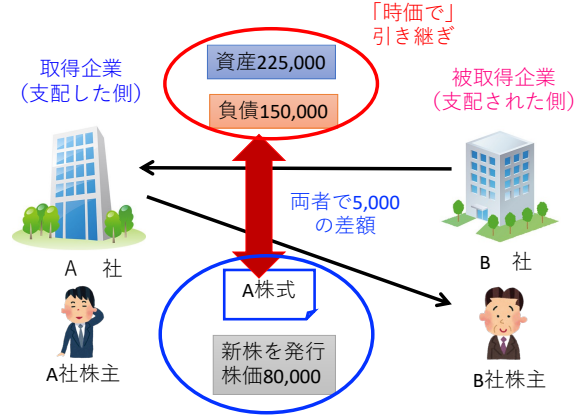
論 点 2	吸収合併の基本的処理 (P 282)	
仕訳例の金額 (仕訳例01)	① A社は、B社を吸収合併した。対価はA社の株式であり、B社の株主に対してA社株80,000円を交付した。 ② 吸収合併により、A社はB社の資産と負債を引き継ぐ。 B社の資産（現金とか土地とか諸々）は帳簿価額220,000円であるが時価は225,000である。負債は帳簿価額と時価ともに150,000円であった。 	
吸収合併したときのA社の仕訳 (P 282)	借方	貸方



【ポイント 1】
吸収合併はA社がB社を「**取得**」したと考える。買い物と同じ。

【ポイント 2】
75,000のものを**80,000の対価**を払って買っている。

(3) 吸収合併したときの仕訳を考えてみよう 3 (P283)

論 点 3	吸収合併の基本的処理 (P 283)	
仕訳例の金額 (仕訳例02)	① A社は、B社を吸収合併した。対価はA社の株式であり、B社の株主に対してA社株80,000円を交付した。発行した株式について、50,000円を資本金に組み入れて、残額は資本準備金とする。 ② 吸収合併により、A社はB社の資産と負債を引き継ぐ。 B社の資産（現金とか土地とか諸々）は帳簿価額220,000円であるが時価は225,000である。負債は帳簿価額と時価ともに150,000円であった。  The diagram illustrates the acquisition process. On the left, '取得企業 (支配した側)' (Acquiring Company - Controlling Side) is represented by A社 (Company A). On the right, '被取得企業 (支配された側)' (Acquired Company - Controlled Side) is represented by B社 (Company B). A large red double-headed arrow connects the two companies, labeled '両者で5,000の差額' (Difference of 5,000 for both). Above this arrow, a box shows '資産225,000' (Assets 225,000) and '負債150,000' (Liabilities 150,000). A red circle around this box is labeled '「時価で」引き継ぎ' (Inheritance at fair value). Below the arrow, a box shows 'A株式' (A Shares) and '新株を発行 株価80,000' (Issue new shares, share price 80,000). A blue circle around this box is labeled '両者で5,000の差額' (Difference of 5,000 for both). Arrows indicate the flow of assets and liabilities from B社 to A社, and the flow of shares from A社 to B社's shareholders (B社株主).	
吸収合併したときのA社の仕訳 (P 282)	借方	貸方

ワーク：事例分析（収益性の分析・時系列分析）をやってみよう～（株）オリエンタルランド

1. オリエンタルランドの決算書

損益計算書（P/L）

（単位：百万円）

	14年3月期	15年3月期	16年3月期
I 売上高	473,572	466,291	465,353
II 売上原価	301,068	295,924	294,217
売上総利益	172,504	170,367	171,135
III 販売費及び一般管理費	58,012	59,762	63,778
営業利益	114,491	110,605	107,357
IV 営業外収益	2,744	2,539	2,986
受取利息・配当金	874	910	1,204
その他	1,868	1,629	1,782
V 営業外費用	4,563	2,658	1,129
支払利息	1,161	486	217
その他	3,402	2,172	912
経常利益	112,671	110,486	109,214
VI 特別利益	-	-	130
VII 特別損失	-	-	210
税引前当期純利益	112,671	110,486	109,135
法人税等	42,099	38,422	35,206

貸借対照表（B/S）～3つの箱に分けてます。

（単位：百万円）

	15年3月期	16年3月期
資産の部		
流動資産	242,330	293,728
内訳（一部）：現金預金	149,779	209,138
固定資産	504,311	516,540
内訳（一部）：建物及び構築物	275,971	274,739
内訳（一部）：機械及び運搬具	27,327	30,785
内訳（一部）：土地	110,379	110,391
資産合計	746,641	810,268

	15年3月期	16年3月期
負債の部		
流動負債	116,284	119,095
固定負債	66,227	66,232
内訳（一部）：社債	50,000	50,000
内訳（一部）：長期借入金	3,365	2,842
負債合計	182,511	185,327

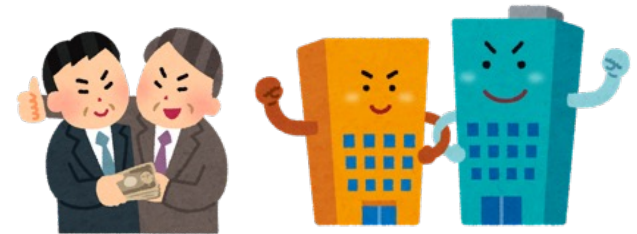
	15年3月期	16年3月期
純資産の部		
株主資本	546,966	609,317
内訳（一部）：資本金	63,201	63,201
内訳（一部）：資本剰余金	111,911	111,911
内訳（一部）：利益剰余金	418,716	480,925
純資産合計	564,129	624,941
負債と純資産の合計	746,641	810,268



Q.会社の「価値」はいくらなのか？

買収その1：企業価値を算定し、買収額を決定する

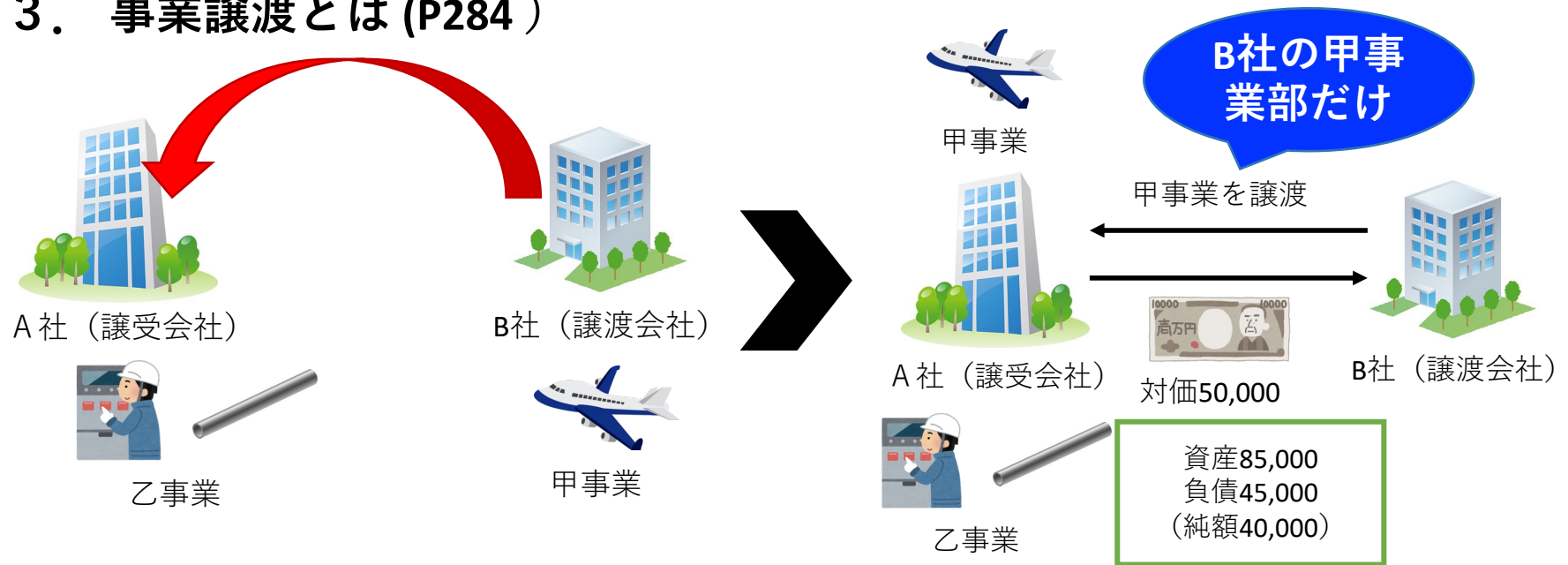
企業価値の算定方法		企業価値算定額
1. インカム・アプローチ	DCF法	
2. マーケット・アプローチ	市場株価法	
3. ネットアセット・アプローチ	簿価純資産法	



	15年3月期	16年3月期
純資産の部		
株主資本	546,966	609,317
内訳（一部）：資本金	63,201	63,201
内訳（一部）：資本剰余金	111,911	111,911
内訳（一部）：利益剰余金	418,716	480,925
純資産合計	564,129	624,941
負債と純資産の合計	746,641	810,268

6,249億円

3. 事業譲渡とは (P284)



吸収合併と事業譲渡の**違い**として、事業に関する**権利や義務を包括的に**承継するか、**事業を選択して承継するか**という違いがあります。

加えて、吸収合併は対象企業の権利義務を原則、**すべて承継**します。
一方、事業譲渡では、対象事業の権利義務を**個別に承継**します。

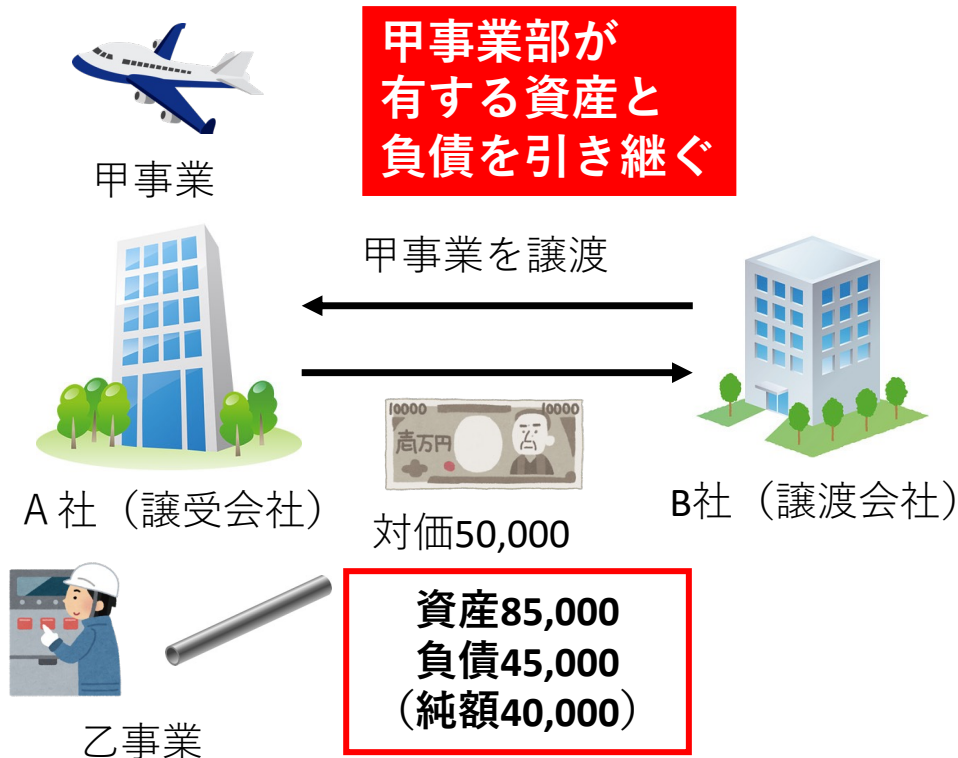
(1) 事業譲受側の会計処理

吸収合併と同じ、「パーチェス法」による処理を行う。

＜仕 訳＞

(借) 諸	資	産	×××	(貸) 諸	負	債	×××	
(借) の	れ	ん	×××	(貸) 現	金	預	金	×××

支配した
(取得した)



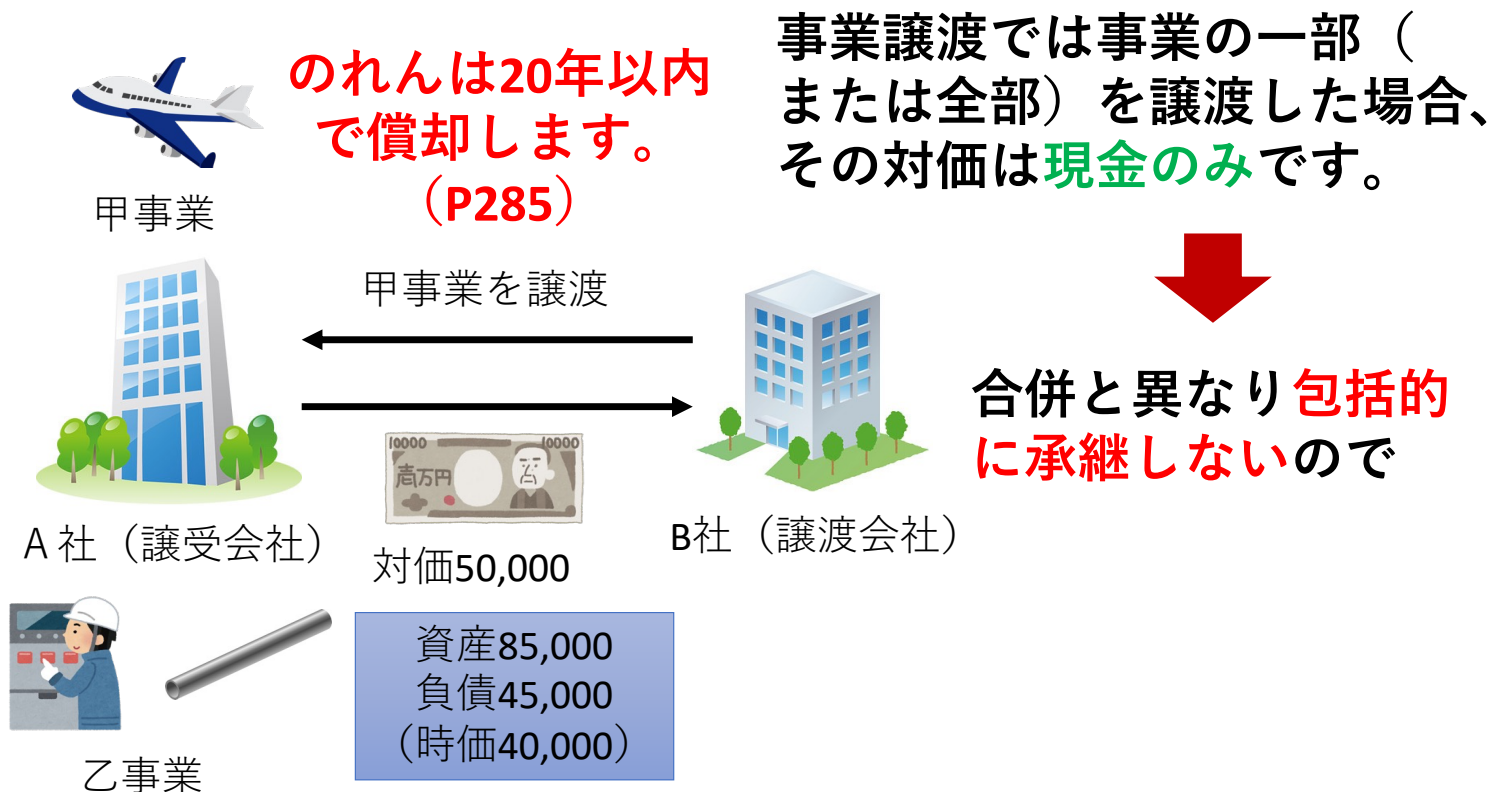
40,000の価値のあるものを
50,000で取得している。その差額は
「のれん」とする。

(1) 事業譲受側の会計処理

吸収合併と同じ、「パーチェス法」による処理を行う。

<仕 訳>

(借) 諸	資	産	85,000	(貸) 諸	負	債	45,000	
(借) の	れ	ん	10,000	(貸) 現	金	預	金	50,000



参 考

1. 事業譲渡

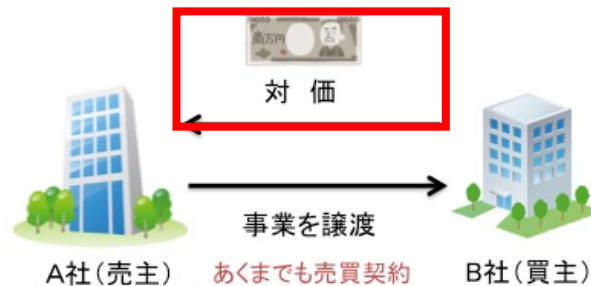
事業譲渡とは、**金銭を対価として**、ある企業を構成する事業の全部又は一部を売却する行為である。

2. 事業譲渡の会計処理

対価として受け取った財が金銭であるため、「**投資が清算したとみる場合**」に該当する。したがって、受け取った金銭の額と、移転した事業に係る資産及び負債の移転直前の帳簿価額による純資産額との差額を移転損益として計上する。

<仕 訳>

(借) 諸	負	債	×××	(貸) 諸	資	産	×××
(借) 現	金	預	金	×××	(貸) 移	転	損
						益	×××



商品売買益と同じ

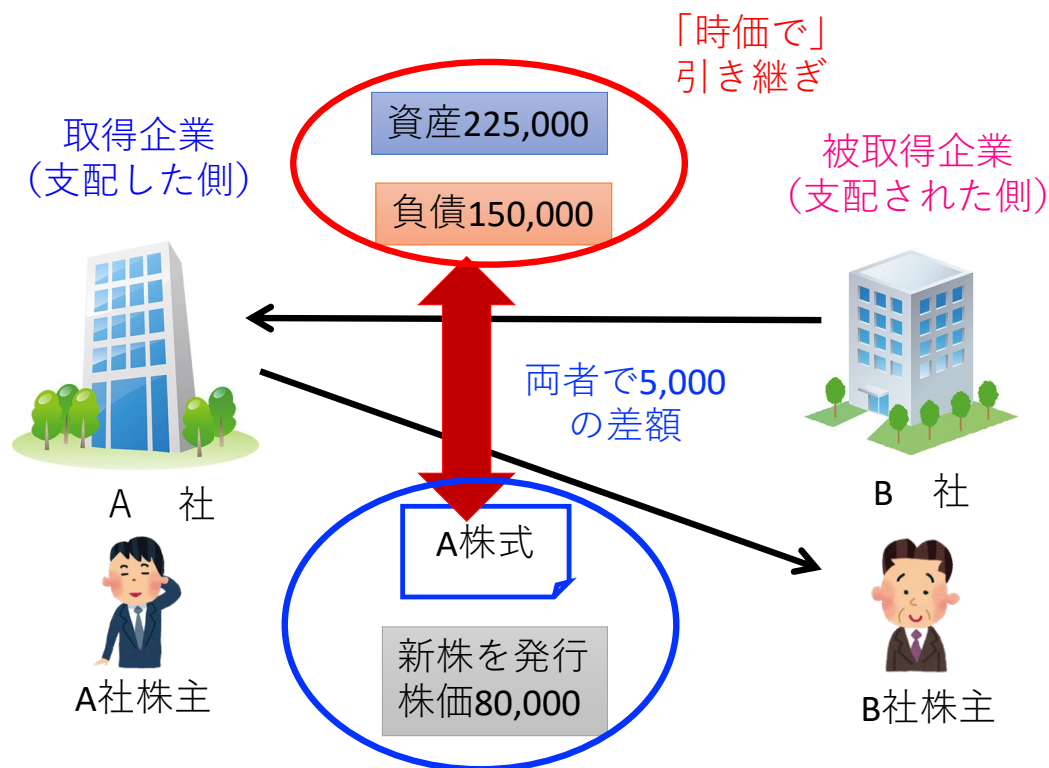
事業に対する投資
は清算された



4. のれん（無形固定資産）の会計処理 について考えてみよう！

Question 1 (P285)

「のれん」はなぜ償却するのだろうか？



1. 要償却説

・ 競争企業が存在する以上、**超過収益を永続的に維持することは不可能**であり、もし仮に超過収益が継続して維持されるとしても、それは過去の買入のれんによるものではなく、その後の自己創設したのれんによるものと考えるべきである。**買入のれんを償却しないと実質的に自己創設のれんを資産計上することになる。**

2. 非償却説

超過収益力たるのれんが毎期の研究開発活動等の**企業努力により維持できている場合は、将来の経済的便益たる資産価値は何ら減少していない以上、**のれんを償却しないで当該超過収益力を資産として計上し続けた方が、投資者が**企業価値を判断するうえで有用な情報を提供することになる。**

3. 再評価説（減損処理）

決算期ごとにのれんを再評価し、それが帳簿価額よりも大きければそのまま繰越し、小さければその差額を「**減損処理**」すべきである

減損処理＝収益力の低下を反映させる会計処理（1級）

のれんの会計処理に関する国際間比較

図表 2 のれんの事後の会計処理の国際比較

日本基準	IFRS・米国基準
償却・減損アプローチ	減損のみアプローチ

国際的な動き（IASB＝国際会計基準審議会）

2017 年 12 月→ IASB 会議ではのれんの償却の再導入を検討しないことを決定

2018 年 7 月→ IASB 会議では、「のれんの会計処理の簡素化」を目的として、
のれんの償却を再導入するかどうかを検討するという決定

「のれん」の会計処理に関する日本の基準設定過程の再考

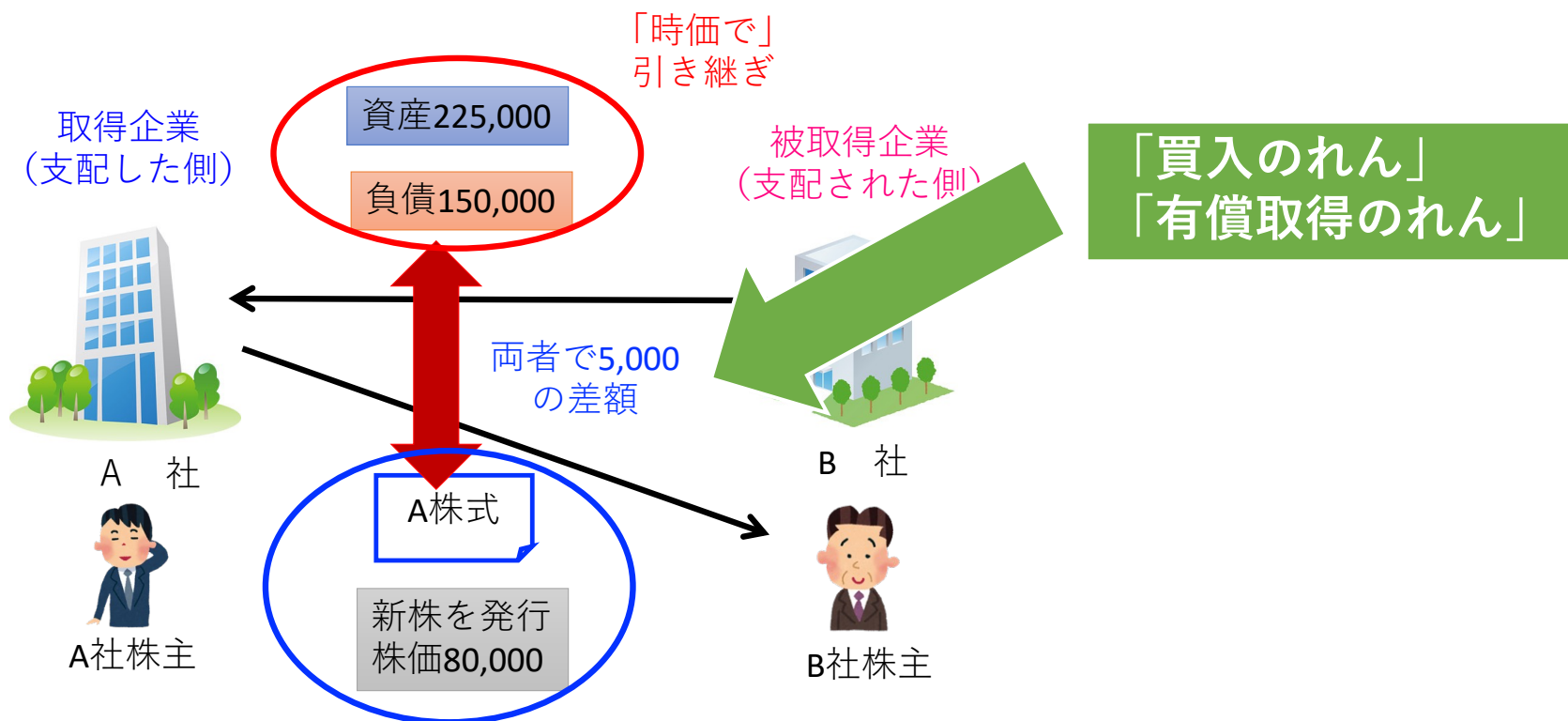
-企業会計審議会第一部会の議事録を通じて-

宮原裕一著～より引用

4. のれん（無形固定資産）の会計処理 について考えてみよう！

Question 2

「**自己創設**のれん」はなぜ認識しないのか？



当然ながら、経営者は投資額100と
4 %の利息分以上稼ぎたいと思っている



得たいと
思っ
て
い
る
期
待
CF

第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
40	30	35	20	15



経営者の
「期待」に過ぎ
ない！

差額26.74が
自己創設のれん

自己創設のれんは、事業用固定資産の取得時の時価（市場平均の期待価値）より利用価値（報告主体の主観的価値）の方が大きい場合、その超過額により算定される。100が取得時の時価であり、126.74が利用価値である。

第1年度
期首



100で取得

4 %の利息で
借入れた



割引現在
価値
126.74

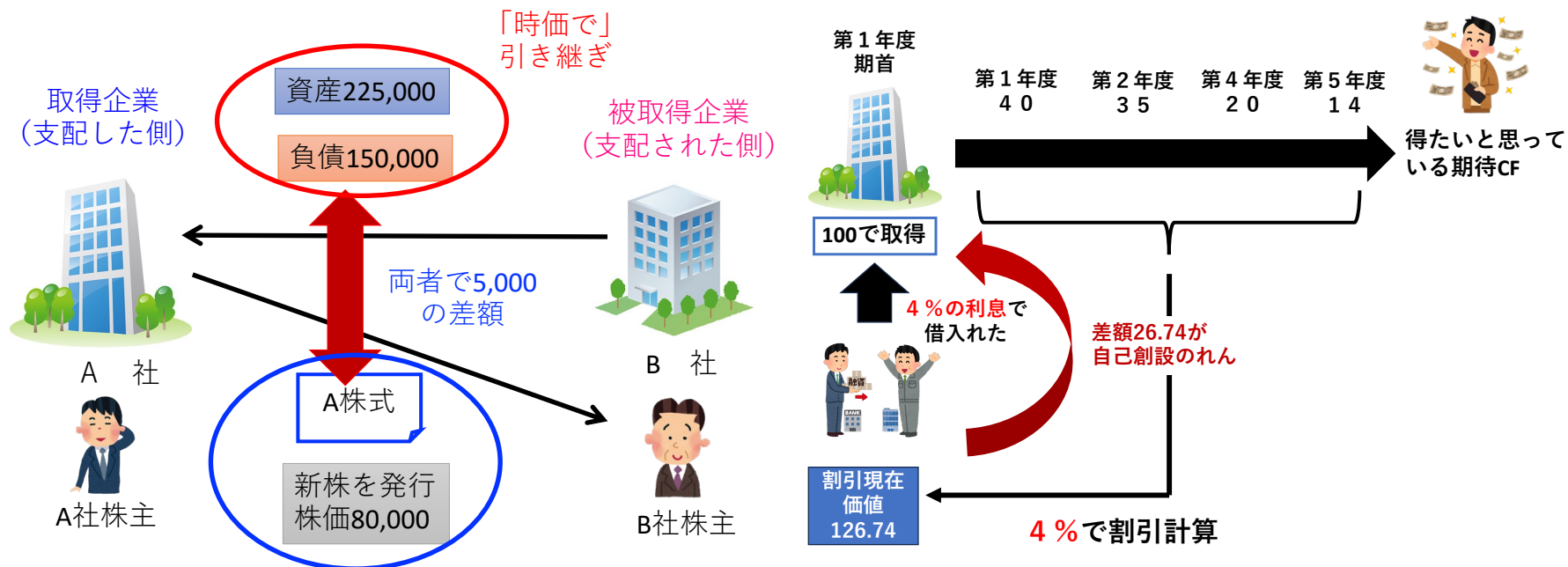
4 %で割引計算

「有償取得（買入）のれん」が資産計上できる理由

その取得の際に**対価を支払います**。このため、「**恣意性**」を排除し**客観的な評価**が行えます。

「自己創設のれん」が資産計上できない理由

経営者による「**自己申告・自己評価**」となることから「**恣意性**」が介入し、客観的な評価ができません。



後継者問題から企業買収が増加する！？

「2017年後継者問題に関する企業の実態調査」

～帝国データバンク

国内企業の3分の2にあたる66.5%が「後継者不在」。そして、中規模企業の約6割が「事業を何らかの形で他者に引き継ぎたい」と考えている。

事例：新右工門 秀峰閣

－老舗旅館

【後継者不足による中小企業の廃業例】

「新右工門・秀峰閣」をご紹介します。

多くの文人に親しまれ、利用客の心身を
いやしてきたものの、**2018年の3月で**
閉館しています。**廃業の道**を選択しまし
た。

～M&A研究所より抜粋



【廃業の理由】

廃業を選んだ理由は、**人材不足**です。

後継者不足を抱え、従業員の確保もうまく進んでいませんでした。**後継ぎ問題と人材の確保に見とおしが立たないため、**廃業という選択を取っています。



【顛末】

旅館が所有する不動産（土地と建物）は、**第三者に譲り渡す**ことを決め、手続きを進めるとのことです。

企業買収とは、取得する側にとっては
お金で「時間」「ノウハウ」等を手に入れる行為

企業価値を高め、レバ
レッジを活かして企業買
収をしていくことも検討
する時代に来ている！



ファイナンス

将来価値
割引現在価値
など
簿記1級で習い
ます！

